



みかみももか
三上桃花さん

● 界小6年

**ペットショップ
の店員に**

わたしの将来の夢は、ペットショップで働くことです。わたしは、ダックスフンドを飼っています。犬を飼うために本を読み、犬種について覚えました。また、調べていくうちに、犬種によって性質や性格、かかりやすい病気が違うことを知り、とても驚きました。わたしがダックスフンドを飼う時も、店員さんに細かく説明していただき、飼うことの責任についても教えていただきました。

店員さんはすごいなあと思うのと同時に、わたしも将来、動物専門学校に行き、たくさん勉強して犬以外の動物のアドバイスもできる店員さんになりたいと思いました。

**みんなの広場に
出してみませんか？**

「キラリ★話題の人」「すてきな仲間たち」「めおと人生」に登場していただける方を募集しています。自薦・他薦は問いません。
※「すてきな仲間たち」「めおと人生」は隔月で掲載します

■ 問合せ

政策調整課広報広聴係
☎(20)3037

- Q ご結婚何年目ですか
A 昭和36年に結婚し、今年で51年目です。
- Q これまでで印象に残っている出来事は
A 自営業を営んでいますので、妻とは夫婦であり、仕事仲間でもあります。二人で一緒に楽しく、健康に過ごしてきました。
- Q 長男が誕生したときは大変でした。仕事も特に忙しい、年末の29日に、誕生しました。元気に育ってくれました。
- Q 夫婦円満の秘訣は
A 細かいところに干渉せず、お互いを信頼することです。
- Q 今後の抱負は
A これまで、消防団や

めおと人生
meoto life

とづねまさき 戸恒雅喜さん(76歳)
さだこ 戸恒貞子さん(73歳) 犬伏新町



楽しく、健康に

- Q 若者へのメッセージを
A 社会に不安を抱えてると思いますが、私たちが若いころも不安を抱えていました。信念を持って、どんな変化にも対応できるように頑張ってください。
- Q お元気そうなお二人は健康に留意しているそうです。戸恒さんご夫妻、これからもお幸せに。
- Q 現在は趣味であるパソコンやゴルフなどを楽しみたいです。
- Q わたしも趣味の陶芸を楽しみたいです。

今回の表紙 「運動公園球技場、人工芝でリニューアルオープン」
(写真は、佐野少年ラグビークラブと足利ラグビースクールの試合)



運動公園球技場が県内初となる、温度抑制機能を備えた人工芝のグラウンドに生まれ変わりました。記念式典が行われた3月25日には、記念試合としてサッカーとラグビーの試合がそれぞれ行われ、選手たちは土のグラウンドでは躊躇してしまうようなプレーにも果敢にチャレンジしていました。

にっさとじょうたろう
新里城太郎さん
 (葛生東)



キラリ★
 話題の「ひと」

- プロフィール
 現在68歳。
 ・公益社団法人佐野市シルバー人材センター理事長
 ・総合型地域スポーツクラブジョータロークラブ会長
 ・葛生小学校特別非常勤講師
 ・元葛生町議会議員

人財を活かす

新里さんが近所の子どもたちとのジョギングを機にスポーツ活動を始めて今年で28年になりました。活動の輪は広がり、平成18年に文部科学省委託事業として総合型地域スポーツクラブ・ジョータロークラブを設立。現在会員は300名、ジョギング、グラウンドゴルフ、チアリーダーリング、卓球と種目の幅を広げ、介護施設の訪問や地域清掃もしています。このクラブには、平成16年の箱根駅伝で区間賞を受賞した影山淳一さんをはじめ全国上位のランナーがいます。

そして葛生小学校で特別非常勤講師を務める新里さんは、週1回、体育の授業を指導する日を楽しみにしているそうです。

また、新里さんは、昨年度、佐野市シルバー人材センター理事長に就任され「一会員だった時には気づかなかつたが、理事長に就任しシルバーの重要性がわかってきた。生きがいとしての仕事の提供、仲間づくり、社会貢献に欠かせない組織だと思ふ。特に女性会員の元気さには驚いています」と話されます。シルバーがこの4月、社団法人から公益社団法人に移行したことに「社会的

責任が重くなった。10月からは佐野事業所に事務関係を統合、地域で信頼される質の高いシルバー人材センターを目指すと同時に、会員も地域もシルバーを通して元気になり、ひいては医療費の削減にまで貢献できるようにしたい」と力強くお話しくださいました。

受益者側も提供者側も高齢化が進む時代にあり、高齢者の孤立防止という点からもシルバーは重要な役割があるようです。

みんなから「ジョータローさん」と親しまれ、子どもと高齢者を常に支援している新里さんは、とりわけ人材を「人財」と考えて「人」を大切にされていると感じます。

「スポーツを通して人とのふれあいや奉仕の気持ちを大切に、やれたいことができるの精神で夢に向かって豊かな心を持つてくれることを願っています」というジョータローさんのスケジュールはいつもいっぱいですが、誰よりもご自身が毎日を楽しんでいるそうです。(市民記者 永倉文子)



▲主宰するジョータロークラブ

市長からの
 メッセージ



風薫る五月、青葉若葉のさわやかな季節となりました。先月、「第28回佐野市民京都バスの旅」に行つてまいりました。三千院では、参加された市民の皆さんを、佐野ふるさと特使である小堀光詮ご門主が丁重にお迎えくださいました。ご門主のふるさと佐野に寄せるご厚情については折に触れてお知らせしてきましたが、昨年の大震災後は、何かと本市の状況を気遣つていただいたほか、二度にわたり新庁舎の建設基金に多額のご寄付をいただきました。

ご門主は、常々「忘己利他(ごを忘れて他を利すること)の精神を説いておられますが、それを実践することは容易ではなく、誠に有り難い思いがいたします。卒寿を迎えられた小堀ご門主の末長いご健勝とご活躍を、市民の皆さんとともに心からお祈りしたいと思います。

また、今月13日には、やはり佐野ふるさと特使であるダ・カーポさんによる「東日本大震災 子ども支援募金コンサート」が文化会館で開催されます。ダ・カーポさんにも佐野市歌の作曲をはじめ、子育て支援基金への多額のご寄付や、佐野市のPRの面で大変お世話になっていきます。

「ダ・カーポ」という名前は、「いつまでも初心を忘れないように」という意味で名付けたとお聞きしました。確かにその優しい歌声は、私たちに童心や故郷への思いを呼びおこし、安らぎを与えてくれます。せわしく過ぎる毎日ですが、初夏のひと時、ダ・カーポという爽やかな風の歌を聴きに、市民の皆さんも足を運んではいかがでしょう。

岡部正英